三河小中学校長会は、各市町の長い歴史と風土を大切にしながら、愚直に子どもを第一に考える価値観をともにし、三河の教育の質を維持・向上させ、保護者や地域の期待に応えてきた。先輩方の英知と情熱により育まれた三河教育の財産は、継承・発展を繰り返しながら、三河の絆を生み、着実にその成果を上げてきている。

　一方、この５年間は、ポストコロナ時代への対応、学習指導要領の趣旨の実現、Society5.0への順応、教職員の働き方改革の推進、少子化対応、気候変動対策、部活動改革など、私たちは数多くの課題へ対応し、それを乗り越える学校づくりに力を注いできた。この５年間の変化と改革の経験により、先人が積み重ねてきたものの意義や価値と、新たなものの問題点も少しずつ見えてきた。子供を直接預かる私たち校長は、「立ち止まり、子供をよく見る。子供の声を聞く。」ことを大切にし、子供の未来に責任を負うべき時である。

混沌とした時代だからこそ、私たち三河小中学校長会は、これまで以上に485人の校長が連携・協働・創造を強固にし、未来を担う子供たちをたくましく育む学校づくりを推進しなければならない。愛知県小中学校長会、三河教育研究会とも相携え、教育を取り巻く諸課題の積極的な解決を図り、持続可能な社会と幸福な人生の創り手の育成に総力を結集し、次代につなぐ努力をしていく所存である。

　令和７年５月１３日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　三　河　小　中　学　校　長　会